

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第18回研修を開催しました！」

第18回の研修は、令和4年10月14日(金)、15日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義では、株式会社みちのくクボタ・サービス推進部の越副部長から、トラクターや管理機の安全操作の基本を学びました。

トラクターの使用前後は、タイヤの空気圧や油漏れがないかなどを確認すること。乗車する時は、ヘルメットをしっかりと着用し、必ずトラクターの左側から乗車すること。始動前には、ホーンを鳴らし、周囲にエンジンをかける合図を送ることを学びました。

さらに、トラクターのレバー・スイッチの配置は、機種やメーカーによって異なることから、取扱説明書をしっかりと読むことが大切と学びました。

トラクターでの事故原因の約6割を、転倒や転落が占めていることから、安全域を確保するための安全フレーム、機体から投げ出されない

ためのシートベルトなど、命を守るために必要な装備について説明がありました。

さらに、公道を走行する際には、左右のブレーキを連結すること、傾斜地では、直角に上り、直角に下ることなどの説明がありました。

また、ロータリーを装備すると、機体の幅が変わり、大型特殊免許が必要になる場合があるので注意するよう指導がありました。

実習では、2班に分かれて、交互に、トラクターと管理機を操作しました。

初めてトラクターを操作した受講生からは、「便利である反面、危険性があることを理解した。安全に使いたい。」との感想がありました。

その後、実習ほ場で、ピーマン、リーフレタス、こまつな、だいこんを収穫しました。

第19回の研修は、10月21日(金)、22日(土)に、同会場で、農具・農機具の手入れ、野菜の防寒対策、前半の研修(実習野菜の栽培管理)の振り返りを行う予定です。



講義「農作業安全について②」の様子



管理機操作実習の様子



トラクターの使用前点検の様子



トラクター操作実習の様子